

タイトル 「研究発表Ⅰ」

講演者

学校名 神奈川県立新栄高等学校 P T A

研究テーマ 「Shine☆Ⅰ」～輝け自分～

はじめに特筆すべきは、活動人数の多さ。参加率の高さです。

委員会の定例会、各活動、学校行事など、毎回の必要人数以上の人が参加を希望してくれるので、人集めで苦勞したことはありません。

私たちは、無理なく無駄なくをモットーに特徴的な活動をしていません。

だからこそハードルも低く、楽しみながら活動できているのだと思います。

入学式後の委員会決めでも、参加人数が多いこと各委員会で活動を細かく分けて担当ごとに分担しているのです、ひとりひとりの負担が少ないことをアピールしています。

が取材をしながら不審者への抑止役として巡回。体育祭で本部がおこなう飲料提供は、数年前から生徒会の希望で始まりました。

学校や生徒から、こんなことで困っている・・・こんなサポートがあれば・・・の声に耳を傾け、いま何が必要か、どのようにすれば皆で協力できるのかを運営委員会で話し合い、学校に提案することで具体的な活動につなげることができています。

近年は、本部役員と各委員会委員長が SNS を利用して、さらに細やかな相談や協力ができるようになりました。PTA を理解してもらうには、まずたくさんの人に参加してもらうこと、私たちには多くの仲間がいます。



入学式、中庭に咲く桜は学校と生徒と P T A が皆で守ってきました。満開の桜と環境整備委員が丹精込めて作った花壇の花でお祝いします。

本校の文化祭「翌檜祭」は各委員会から選出された実行委員が5月から9月頃まで活動します。

当日は、実行委員以外も参加するため横の連携を図りやすくするため、各委員会の代表で構成し、会議は役員会・運営委員会を無駄なく終わらせて委員会の定例会前に行うようにしています。

ここでもやはり、無理なく、無駄なくが活かされていると思います。

学校の提案から、始まったパトロールは担当者が警備腕章をつけて体育館に座り、校内は広報委員

テーマに選んだ「Shine☆Ⅰ」は新栄をアルファベット表記にしたものです。

新栄高校の目標は、自らを自分の力で輝かせられるように、高校生活を通していろいろな力をつけることです。

このテーマ名は元々、生徒たちの目標なのです。私たちの P T A は、目標に向かい切磋琢磨している生徒たちを常に見守り、その時々必要なサポートができるように委員会と学校が情報を共有しながら「何がしたいか」ではなく、生徒たちのために何ができるか、何を望まれているのかを考えつつ無理なく、無駄なく、軽やかに、継続しながらも進化する P T A でありたいと思います。